作成日：2026 年 9 月 9 日　第 1 版
〔ホームページ公開用資料〕

健康医療データとモビリティデータを活用した物流事業者における運転手の健康管理に関する共同研究

１．臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。また、株式会社スズケン、株式会社エス・ディ・ロジ、株式会社翔薬、株式会社博運社、中央運輸株式会社では物流企業として利用者の生命･財産の安全な輸送に取り組んでいます。

患者さんや一般の働く人の生活習慣や検査結果、疾病の前兆となる健康医療データなどの情報を集め、これを詳しく調べて医療の改善につながる新たな知見を発見する研究を「臨床研究」といいます。その一つとして、九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターと株式会社スズケン、株式会社エス・ディ・ロジ、株式会社翔薬、株式会社博運社、中央運輸株式会社は、現在、物流企業に勤務する運転手（社員）を対象として、健康管理と疾病リスク管理に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2030 年 3 月 31 日までです。

２．研究の目的や意義について

働く人は特殊な職場環境下で仕事に従事することがあり、自動車運送業では近年運転者の健康状態に起因する事案が増加しており、疾病や生活習慣に関連するリスクを予防・軽減する取組みが重要となっています。特に予見可能な疾病については、合理的な方法による早期対応が求められています。また、予見困難な疾病発症時にも重大事故を未然に防止するため、先進安全技術を用いたハード対策や得られるデータを組み合わせ、総合的な安全対策を推進することが不可欠です。

そこで今回、物流企業による運転手の健康管理のために、医療機関または物流事業者と運転手間の双方向連携で得られる医療データ、生活圏の日常データ、自動車データを収集し、自動車産業界に対応した健康医療プロセスモデルの開発と実証を目的として本研究を計画しました。診療プロセスまたは健康プロセスを管理するシステムに、脳卒中、認知症、睡眠時無呼吸症候群、糖尿病、高血圧、不整脈、心不全、虚血性心疾患などの疾病リスク管理のためのプロセス管理項目（OAT ユニット）を登録し、LHS アプリに連携します。運転手は、LHS アプリに日々の健康医療情報を入力します。

本研究を行うことで、医療者と事業者と運転手が日々繋がることで医療と日常の健康医療情報の一貫したヘルスケアプロセス管理が可能となり、医師・事業者・運転手間の信頼関係の向上や個人レベルでの行動変容を介して健康が促進され、運転手の疾患予防・重症化予防・健康管理向上と安定した物流サービスの提供が期待されます。

３．研究の対象者について

研究許可日から 2030 年 3 月 31 日までに対象となった物流企業（株式会社スズケン、株式会社エス・ディ・ロジ、株式会社翔薬、株式会社博運社、中央運輸株式会社）で従事する運転手または社員のうち、同意取得時のおける年齢が 18 歳以上で、研究参加へ同意してくださる方、最大 600 名（うち株式会社スズケン 10 名、株式会社エス・ディ・ロジ 120 名、株式会社翔薬 20 名、株式会社博運社 300 名、中央運輸株式会社 150 名）を対象とさせていただく予定です。研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

４．研究の方法について

この研究を行う際は、研究の対象となる条件を満たしているかどうかの確認や運転手の運行状態や健康状態の程度などに偏りがないかを確認するために、あなたが所属する企業から運転手（社員）の運行データ、車載データ、健診データを九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターが管理するクラウド上のデータベースに登録します。この登録を希望しない場合は、事務局までご連絡ください。データを削除いたします。なお本データベースは、医療情報の 3 省 2 ガイドラインに準拠しており、セキュリティを確保しています。

次に、研究対象者用の同意説明文書に基いた説明を聞いていただき、この研究への参加に同意いただきましたら、以下情報のうち、許諾いただいたデータを取得し、クラウドに登録いたします。

〔LHS アプリ登録時に取得する情報〕

対象者属性：氏名、カナ氏名、性別、生年月日、年齢、郵便番号、都道府県、住所、電話番号、メールアドレス

〔LHS アプリから取得する情報〕

動的同意情報、プロセス管理項目入力情報、通院歴、マイナポータルから連携した特定健診情報、薬剤情報、医療費、身長、体重、歩数、移動距離、血圧、血糖、体温、今日の体調、睡眠、主観的健康情報

〔物流企業から取得する情報〕

運行データ、車載データ、健診データ

〔利用者アンケート〕

アプリの使用や健康管理に関する主観的評価､運転手コンプライアンス評価､PHR サービスのニーズ調査、普段の生活に関すること

なお、本研究では健康管理目的でのシステム利用の実証であるため、個人を特定できる情報を含んだ形でデータを管理します。アンケートについては､Web または紙で収集し、電子化したものを上記のクラウド上で厳重に管理します。

また、あなたが入力したデータをあなたが所属する共同研究機関等の研究担当者は確認することができますが、九州大学の担当者は個人を特定できる情報は確認できません。これらのデータを研究目的での統計解析やデータ解析をする場合には、あなたが所属する共同研究機関等において、それぞれ収集した情報を個人ごとにマージし、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。お名前など個人を特定できる情報が無い状態にして、研究機関の九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターへ送付し、疾病リスクに関する詳しい解析を行う予定です。あなたと研究用の番号を結びつける対応表は、共同研究機関等にて厳重に管理します。解析結果については、医師による疾病リスクを評価し、集計情報を共同研究機関と共有します。個人を識別できる形式では共有しません。

５．研究への参加とその撤回について

この研究への参加はあなたの自由な意思で決めてください。同意されなくても、あなたに不利益になることは全くありません。

また、いったん同意した場合でも、あなたが不利益を受けることなく、いつでも同意を取り消すことができます。同意を撤回されたい方、事務局までご連絡ください。

その場合は、取得した情報は、それ以降この研究目的で用いられることはありません。ただし、同意を取り消した時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

６．個人情報の取扱いについて

本研究は、医療者と事業者、運転手（社員）間の日々の健康プロセス管理の実証事業であり、研究目的での統計解析・データ解析のみならず、個人の日々の健康管理を目的としたシステム利用も行います。そのため、LHS アプリのシステム（クラウド）上では、個人を特定できる情報を含んだ形でデータを管理します。本システムでは、あなたが所属する共同研究機関等の研究担当者が個人を特定できるデータを確認することができますが、九州大学の担当者は個人を特定できる情報は確認できません。

ただし、あなたの健康医療情報や主観的評価などのアンケート回答結果をこの研究に使用する際には、あなたが所属する共同研究機関等において、それぞれ収集した情報を個人ごとにマージし、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究用番号のデータを九州大学に送付し、研究に使用します。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、共同研究機関等にて厳重に管理します。

解析結果については、医師による疾病リスクを評価し、集計情報を共同研究機関と共有します。個人を識別できる形式では共有しません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院医療情報学分野・教授・中島　直樹の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

７．試料や情報の保管等について

〔情報について〕

この研究において得られたあなたの健康医療情報とアンケート結果等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターにおいて九州大学大学院医学研究院医療情報学分野　教授・中島　直樹の責任の下、１０年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

しかしながら、この研究で得られたあなたの情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、あなたの同意がいただけるならば、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えております。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

８．この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、厚生労働科学研究費補助金でまかなわれます。

９．利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんや市民の利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究では上記企業との間で利益相反状態が存在しますが、観察研究実施計画は上記要項に基づき調査され、利益相反状態が存在することによって研究対象者に不利益が及ぶおそれはないと判断されました。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

（窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター　電話：０９２－６４２－５０８２）

１０．研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、どうぞお申し出ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

１１．特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性がありますが、その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、研究対象者には属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性がありますが、これについても研究対象者に権利はありません。

１２．研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

１３．研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院　メディカル・インフォメーションセンター 九州大学データ駆動イノベーション推進本部 九州大学大学院医学研究院医療情報学分野
研究責任者	九州大学大学院医学研究院医療情報学分野　教授　中島　直樹
研究分担者	九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター　准教授　山下貴範

	九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター　講師　佐藤直市 九州大学データ駆動イノベーション推進本部健康医療 DX 推進部門　准教授　錦谷まりこ	
共同研究機関等	機関名　／　研究責任者の職・氏名・(機関の長名)	役割
	①　株式会社電通　スタートアップグロースパートナーズ　アカウントリード 4 部　部長　高杉　聡	企画支援、情報の受取
	②　株式会社スズケン　デジタルソリューション統轄本部・執行役員　デジタル企画部長 安藤井達	情報の収集、提供、受取
	③　株式会社翔薬　経営企画室・副室長　清水　章	
	④　株式会社エス・ディ・ロジ　執行役員人事部　安齋直子	
	⑤　株式会社博運社　常務取締役　廣瀬康司	
	⑥　中央運輸株式会社　代表取締役社長　赤澤義博	

１４．相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等がある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 （相談窓口）	担当者：九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター 准教授　山下　貴範 連絡先：〔TEL〕092-642-5887（内線 5887） 〔FAX〕092-642-5889 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：yamashita.takanori.804@m.kyushu-u.ac.jp

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長　中島　康晴